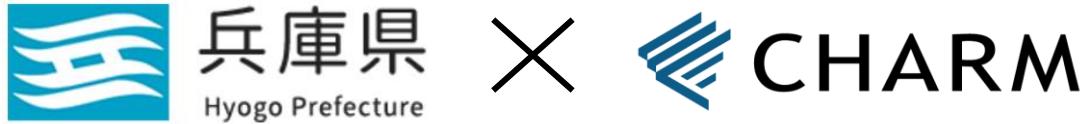


ヤングケアラー支援 兵庫県との連携による支援事業を開始



株式会社チャーム・ケア・コーポレーション（大阪府大阪市／代表取締役会長 兼 CEO 下村 隆彦）と兵庫県（知事 斎藤 元彦）は、ヤングケアラー・若者ケアラーの負担を軽減することにより、ケアを担う子どもや若者が“取り残されることがない社会の実現”を目指して、2025年8月28日に連携協定を締結したことをお知らせいたします。



兵庫県福祉部長 岡田 英樹氏（左） 当社 代表取締役会長 兼 CEO 下村 隆彦（右）

1.事業連携協定について

チャーム・ケア・コーポレーションは、2021年に民間企業としていち早くヤングケアラー支援を開始し、介護事業者ならではの取り組みを自治体と連携しあなってきました。

兵庫県は、2022年より「兵庫県ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」を開設し、ヤングケアラーに対する精神的負担軽減、市町や支援機関へつなぐなどの展開を図るための相談業務に取り組んでいます。

このたびその経験をふまえ、チャーム・ケア・コーポレーションと兵庫県は、さらなるヤングケアラー・若者ケアラー支援を進めていくために連携協定を締結し、兵庫県下で取り組みを開始します。

2.協定における連携事項

- (1)介護事業者としての特性を活用した支援
- (2)その他目的達成のために必要な支援

3.具体的な支援内容

- ① 老人ホームの居室や食事の無料提供によるケアラーと家族へのレスパイト「息抜き」支援
- ② ケアラー及び元ケアラーの中間的就労として老人ホームでの「就労訓練」支援
- ③ 奨学金を借りているケアラーの「代理返還」支援
- ④ 老人ホームで当事者交流・多世代交流支援として「こどもgaカフェ」の開催

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
代表取締役会長 兼 CEO 下村 隆彦



ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援という社会的課題は、介護事業者である当社にとって果たすべき社会的責任の一部であると考えています。全国的に見てもヤングケアラー支援の先駆となる兵庫県様との連携により、さらなる取り組みの進展に期待しています。ひとりでも多く支援を届け、超高齢社会を肯定的に捉える「豊かで実りある高齢社会」づくりに貢献したいと考えております。

兵庫県 福祉部
部長 岡田 英樹氏



兵庫県では、2022年度から「ヤングケアラー・若者ケアラー相談窓口」を開設し、市町や関係機関と連携して本人や家族に寄り添った支援を展開しています。このたびのチャーム・ケア・コーポレーション様との事業連携協定の締結をきっかけに、ケアを担うごどもや若者を社会全体で支えていけるよう、ヤングケアラー・若者ケアラーへのさらなる支援を推進してまいります。

■株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション

会社名：株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション

所在地：大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館21階

代表取締役会長 兼 CEO 下村 隆彦

URL : <https://www.charmcc.jp/corp/>

■兵庫県 福祉部 地域福祉課

所在地：神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

電話番号：078-362-9187

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf03/young-carer.html>

【兵庫県 記者発表資料】

URL : <https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf03/yc/kyoutei.html>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

《株式会社チャーム・ケア・コーポレーション》

TEL : 06-6445-3401

e-mail : h.kawabata@charmcc.jp

担当者：業務管理室 河端

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社は、企業理念に則り、事業を通じて「豊かで実りある高齢社会」づくりへの貢献を使命と考えております。
当社は、この使命を基礎として、事業活動を通じてSDGsに関連する取り組みを実施しており、今後もSDGsの目標達成に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。

目標3 すべての人に健康と福祉を | 満たさるべき基本的人権

目標4 質の高い教育をみんなに | すべての課題解決の為に

■ 会社概要

名 称：株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション

所 在 地：大阪市北区中之島3丁目6番32号 ダイビル本館21階

代 表 者：代表取締役会長 兼 CEO 下村 隆彦

事業内容：「介護付有料老人ホーム」及び「住宅型有料老人ホーム」の運営ほか